

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区

創立 1962 年 6 月 4 日

2018年2月28日

週報 第2510号

プログラム案内



ロータリー:
変化をもたらす

本日のプログラム

2月28日(水)

- ・点鐘・ロータリーソング
- ・点鐘・ロータリーソング
- ・会長報告・幹事報告
- ・立食

次回予定2018年3月7日

四つのテスト

- 1、 真実かどうか
- 2、 みんなに公平か
- 3、 好意と友情を
深めるか
- 4、 みんなの為に
なるかどうか

松尾薬品沖縄支店

タイムスカルチャー講師

松尾はつ子様

2018年3月14日

倉持恵美様

例会報告

第2627回(2018年2月14日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
63名	37名	25名	60%	55%

欠席会員

伊野波、名城、知念、高田、大原、具志堅、上原大城(博)、大濱、儀部、宮内、大嶺、福重、久保立津、石川(元)、城間(久)、三浦、照屋(紀)奥野、白土、本島、小幡、宮城、與儀会員

Ma k u U p

宮内一郎(2/8那覇東) 小林 充()

糸洲 昇(2/9地区IAC)

石川正一(2/11バギオ) 大原 博()

松島寛行()

小林 充(2/14石垣)

宮内一郎(2/15那覇東)

比嘉芳直(2/15地区ロータリー財団セミナー)

小林 充()

安里清榮(2/16浦添)

ビジター

緑間 禎(那覇東) 佐久田綾子(浦添)

ゲスト

鈴木克典(ゲストスピーカー)

会 長 大嶺 香 副会長:具志堅一真・大城純市

幹 事:比嘉広明

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階

TEL:861-7824 FAX:861-7825



会長報告 (大城純一副会長)



・2月4日にグランド日航東京でロータリーの米山財団設立50周年の記念式典があった。これまで124か国、学友として約2万人の実績がある。国際平和に貢献していることを実感した。台湾のパネリスト

(リョウさん)より台湾と日本は戦争前に色々あったが日本に感謝したいのは司法の独立を台湾に定着させてくれたとの話があった。司法に携わる者としては非常に嬉しい。

・2月6日に台湾でマグニチュード6.4の大地震があった。新聞を見ると倒壊したビルにロータリーの事務所の看板が出ていた。ロータリーの皆様が被災されているので何とかしなければとの思いがある。会長を含め執行部で今後の台湾での被災者に対する支援を検討して行くので皆様のご協力をお願いしたい。

幹事報告

- ・各ロータリークラブ例会変更・振替のお知らせ
- 浦添ロータリークラブ

例会変更 (夜間例会)

日時: 2018年3月9日(金) 18:00~

場所: ライブハウスアパッチ

(那覇市松山1-34-3カクテルプラザ6階)

ビジター費 ¥5,000

2月度お誕生日祝い

當間良明(2月1日) 豊村良春(2月9日)

名幸俊海(2月2日) 具志堅一真(2月9日)

大城純市(2月5日) 高田和泰(2月26日)

知念良明(2月6日)

1月度皆勤バッジ

石川正一(35年) 小林 充(1年)

Rotary コーディネーターNEWS

■柔軟性は会員増強の救世主になりうるか?

ご存知COL16においてクラブ運営に関する諸規定が従来のそれらと劇的に変革を遂げた事は記憶に新しい。それもこれも世界的に見て停顿気味の会員増強を強力に押し進めるため、又、ロータリー活性化の基盤である魅力的・効果的クラブ作りのために柔軟性導入はRIがまとめた最善の手段であろう。

①: 柔軟性導入後の影響

昨秋本邦全クラブに実施したアンケートの結果、柔軟性導入したクラブは全体の23%、導入予定18%、従来の運営踏襲が半数を越え53%、導入しないが6%という数字が出た。しかし、某クラブのように例会回数を月2回に減らしてみたが、ヤッパリ毎週例会が良いということで早くも元に戻したケースもあると聞く。一方、世界ではRIが2016/7/1、即ちクラブに柔軟性導入推奨開始時点の会員数は1年経過の昨年同時期と比較したら約5千人減の120万人強であった。これから推察すれば柔軟性導入は現時点で世界も日本も会員増加に貢献しているとは言えない。

②: 過去の増強について

日本での新会員は一般的に以下の手続き「探し出す、紹介する、入会を勧める、入会させる、導き・情報を伝達する、参加させる、研修する」を経て入会し、理念を伴った優秀なロータリアンに成長してきた。増強とは文字通り「会員を増やし、クラブを強くする」事だ。初めから柔軟性と言う概念はクラブにも新入会員にもなかったのは事実であろう。

③: 今後の増強について

増強は組織維持のため永遠の課題である。基本的にロータリーは他の奉仕団体と違うことを強調し、合わせて日本独自の慣習・考え方に則り進めるのがベスト。

しかし、いつまでも過去の理論に固執し、世界の流れ、時代の流れ、社会環境の変化への対応が遅れないようにすべきだ。RIは柔軟性と言う画期的な概念を提案し、導入を推奨し、変革を促しているように我々もこれを日本流に改変し、応用し、増強に活用する時期が来たようだ。とは言っても増強への王道はクラブ会長と会員が一丸となって汗を流す事に尽きると思う。

第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐伊藤文利

卓話: 鈴木克典 (エスワンスポーツ鍼灸整骨治療院)



健康とは身体的、精神的、社会的に満たされた状態とWHOは言っている。健康と病気の間で未病という言葉がある。病気ではないが体が不調を抱えている、痛みがある体が重たいという人は多い。身体的に満たされている状態とは運動、睡眠、バランスの良い食事の3つである。人間は30~40兆個の細胞から出来ていて、その細胞一つひとつが血管(血液)を通じて人間と同じ営みを行っている。血管が詰まる等、血液が流れていない状態では30~40兆個の細胞に栄養も行かなければ、老廃物も外に出せない。酸素も取れなければ二酸化炭素も出せない。血管の流れを良くして細胞に血液を流すには体や心臓を動かすなど運動することが大切である。現在、私達の生活も便利になり体も動かさなくなっている。体を動かすことが本当の健康に必要なということを多くの方に知って頂きたい。私達がお手伝いをするパーソナルトレーニングは、自分の体を自分でデザインし共に作る。一人ではできないので私達がお手伝いをする。社会とは人との関係性だと思っている。人との関係性が満たされていれば仕事も家庭も上手くいく。私達の仕事は、ただ単に提供しているだけではだめで、お客様の要望をしっかりと聞いて、どうゆう体に成りたいのか、自分の体をどうデザインしたいのかを出して貰いお手伝いをする。健康は、今でている症状を緩和するよりも予防して行くことが大事。予防になるのは運動であり、質の良い睡眠、バランスの取れた食事が重要になる。